

福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」をむすぶ会 23!
夢・願い・怒り～ボランティアと国会議員の凄さ・面白さ

2023.9.23

主に自己紹介

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 理事長

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 顧問(前・代表理事)

早瀬 昇

1

0. 自己紹介

・1955年1月 生まれ 68歳です

こんな人と同学年



↑同じ1955年
生まれ(1学年下)

※ ボランティア活動は「恋愛」に似ている

- ① 自発的な**無償**(お金のためではない)の行為
- ② 対象を**選べる**
- ③ **好き**であることが選択の重要な基準となる
- ④ **出会い**は**偶然**によるところが多い
- ⑤ しんどいこともあるが**自分自身も元気**になる活動
- ⑥ 自分が満足するだけでは、うまくいかない
- ⑦ 止める時、別れる時が辛く難しい
- ⑧ **心移い**をすることがある ...

★ 違うのは、「開いている」か「閉じている」か
そして、ボランティア活動は時に怒りからも始まる

0. 北爆！ ベトナム戦争で社会で意識

・1965年2月(10歳) 米軍、「北爆」を開始



←B52による無差別爆撃

→
枯葉剤の
散布



- ・4月「ベトナムに平和を!! 市民文化団体連合」
- ・10月「ベトナムに平和を!市民連合」に改称

1. 原点:「ベ平連」との出会い

* 「ベトナムに平和を!市民連合」のユニークさ

- ・本部/支部のないフラットなネットワーク
- ・「北爆反対」の一点で結集した多様な市民が、各地で自発的・多発的に活動
- ・「言い出しっぺ」の原理…などの運動論

* 「世直しの倫理と論理」を熟読 1972年(17歳)

- ・大学入学目前 故小田実氏



* 1973年3月 米軍撤退。ベ平連、順次解散!

2. 勘違いから始まった「実践」

- ・受験勉強から解放されたのに「ベ平連」はない!
- ・「ユックリズム」に騙される!! ~新聞記事の呼びかけに応え、説明会に出向いてしまい…。

* 勘違いから出合った「大阪交通遺児を励ます会」(創立者は後の代議士・参院議員、故山本孝史氏)

- ・マスコミ等との接触も増える
~取材を受けての感想は「社会を動かしている!」
- ・「もう解散」となった時に ~勝手に「責任」=自身に「応える力 response-ability」=があると感じる



※ 私的体験から見た「参加」が進む鍵

- ・単発イベントなど、入しやすい「**入口**」
～ 入しやすいお店は？ 参加自体は、偶然の要素も
- ・自身の「**存在感**」を感じられる体験
～ 活動への正のリアクション
- ・「**世界**」の広がり
～ 当事者、マスコミ、全国の活動家…
- ・参加の「**階段**」を上げる体験
～ いつでも、どこでも、誰でも、気軽に楽しく…の
次の段階へ

3. 参加で築かれた市民活動の広場・砦

- ・大阪交通遺児を励ます会の活動拠点が
大阪ボランティア協会
(ベ平連と同じ1965年創立)
- ・日本初の「ボランティア講座」開講(講座の最初の
コマは「ボランティア活動と
民主主義」)。民設市民活動推進拠点を支えるのは
多くのボランティアスタッフの運営&経営参加。
- ・多様な市民団体と出会い、様々な活動に参加。



こんなこともありました。1977年2月(22歳)のある日…

大阪は日本で最初(1980年11月)に、地下鉄にエレベーターが設置された街です。その背景に当事者と市民の努力がありました。



※ 岡本先生、行政の忖度要請に説教!!

・「誰でも乗れる地下鉄をつくる会」での経験

1980年11月 大阪市営地下鉄 谷町線・喜連瓜破駅に、
日本初のエレベーター設置…にいたるプロセスは…

- ・自重を働きかけてきた福祉行政
担当者に説教！
市民の運動を守る

- ・「愛情の反対は憎悪では
ない。無関心である」
(マザーテレサ)の意味



岡本榮一 先生
(元大阪ボランティア
協会理事長。現顧問)

